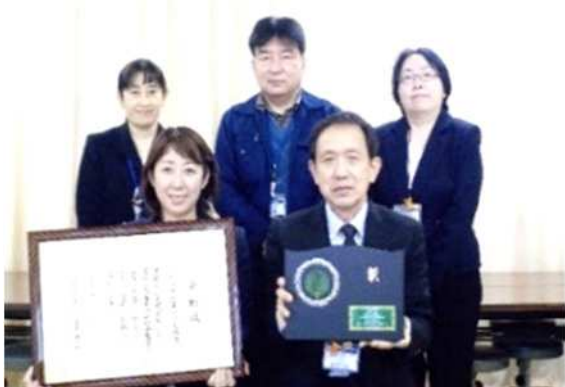




令和3年5月10日発行  
第5号  
岡山市教育委員会  
生涯学習課公民館振興室  
岡山市北区幸町 10-16  
電話(086)234-6015

## 高松公民館が第73回優良公民館表彰を受賞 いつでも、誰もが気軽に集える、つながる公民館



このたび、当館は文部科学省より「公民館やその他公民館と同等の社会教育活動を行う施設のうち、特に事業内容・方法等に工夫をこらし、地域住民の学習活動に大きく貢献している」として、令和2年度優良公民館表彰を受賞しました。ひとえに、地域の方々のご理解とご支援、ご協力をいただき今回の栄えある受賞につながったと職員一同、大変喜んでおります。高松公民館では、地域の特徴を生かした学び、誰もが緩やかにつながる公民館を目指し、次の3点を活動の柱としています。

### 歴史文化遺産の学びづくり

高松地域は、歴史・文化遺産の宝庫です。日本三大稲荷に数えられる最上稲荷や、今も語り継がれる清水宗治が領民五千人の命と引き換えに自刃した高松城址、さらには桃太郎伝説の国宝吉備津神社、この地域に点在する道標や常夜灯（石灯籠）など、枚挙にいとまがありません。歴史的遺産を切れ目なく語り継ぐことで、異世代間の交流が図られ、歴史的事実を途切れることなく継承できると考えています。

### 防災力を高める地域づくり

各連合町内会では、安全・安心ネットワークを中心に自主防災組織があり、毎年、町内会単位で工夫した防災訓練を実施しており、地域住民や子どもたちが参加しています。それぞれの訓練の情報共有や成果・課題等の発表の場として、毎年、公民館主催

で「防災発表会」を開催しています。避難で重要なことは、日頃からのつながりです。声を掛け合い顔の見える関係をつくることで、地域の防災力を一層高めることが考えられます。

### 地域協働の拠点として

今回の受賞は、これまでの高松公民館の取組が総合的に評価されたものです。一つ一つの行事や講座、クラブ講座には歴史があり、世代を超えた交流が図られていますが、特に朝ラジオ体操&OKAYAMA！市民体操（以後「朝ラジオ体操」という）、高松文化まつり、食と環境・復興フェアは、公民館と地域諸団体が協働して企画運営を行い、参加者の体験型・巡回型の行事として毎年、実施開催されています。



朝ラジオ体操は、平成25年度主催講座「健康のヒケツ」から始まり現在に至っています。毎回20～30名の参加があります。夏は厳しい陽光を浴び、冬はしばれる極寒のなか、一年を通じて行っており、人の輪が広がっています。

朝ラジオ体操をはじめ、高松文化まつり、食と環境・復興フェアでは岡山市北区北保健センター、北市民健康づくり高松会議など多くの地域諸団体がこの事業を支え、公民館が地域協働の拠点となっています。

職員一同、今回の優良公民館表彰を励みに、一層「いつでも、誰もが、気軽に集える、つながる公民館」を目指し、主催・共催事業やクラブ活動等に取組んでまいります。  
(高松公民館)

## 公民館の実践紹介⑨

## 光南台公民館

# 住民の主体的な活動を応援 ～「防災のつどい」をとおして～

## 地域の状況

光南台公民館は、岡山市の最南端に位置する光南台学区にあります。北は穏やかな児島湾、南東は瀬戸内海が広がる自然豊かで風光明媚な地域です。一方で、平成16年、平成23年には台風による浸水被害などがありました。そうした状況をふまえて、光南台公民館では平成18年度から防災講座に取り組んでいます。

## 町内会との協働

平成24年度には、岡山市で防災キャンプ事業が始まりました。光南台公民館では取組み開始の3年間は大規模な形で実施していましたが、



今後の事業継続を考えるにあたり、各町内に公民館と共催で、一緒にしませんかと呼びかけることにしました。災害への対応は、地域が自ら主体的に行うのがめざすところであり、各町内では立地条件など異なるものが多くあります。その呼びかけに、宮浦町内会の宮浦女性防火クラブ（当時は婦人防火クラブ）が応じてくれました。宮浦女性防火クラブは岡山市内にある女性防火クラブの一つです。子育て世代の方もおられ、青少年を対象とした防災学習についても取組みやすかったと思います。

こうして、平成28年度からは公民館と共催で、「防災のつどい～南海トラフ巨大地震による津波を



想定した避難訓練・体験学習～」を夏と秋の年2回開催することになりました。

「防災のつどい」の開催は町内会だけでなく、光南台学区に広報しているので、他の町内からの参加もあります。また、

小中学生も参加できるように、体験学習などを交え、毎年非常食を取り入れた料理教室も行います。宮浦女性防火クラブの会長さんによると、「今何を伝えたいか、今伝える必要があるのは何なのかを考えながら計画している」とのことでした。

毎年の経験が蓄積され、回を重ねるごとに内容もより充実したものになってきました。令和元年度の事業では西日本豪雨災害の話や、非常持ち出し袋を考えるワークショップなどを行い、多数の小中学生の参加だけでなく、大学生など新たな参加もありました。参加者からは「幅広い年齢の方とグループワークをすることで、いろいろな意見をきくことができる」、中学生からは「大人の人と協力してできて良かった」など、世代を超えて協力することの大切さも体験できました。

## コロナ禍でもできること

令和2年度は新型コロナウイルス感染症により、内容だけでなく、実施できるかどうかの問題になりました。実施の見通しが立ちにくい状況の中、コロナ禍でも必要なことは中止にするのではなく、気をつけながらしていくということで、時期をずらして実施することにしました。

感染対策をとるために、例年行っている料理教室の内容は変更したり、定員数を制限したりし、安全も配慮した形で実施できました。

参加人数に制限があったので、公民館から防災のつどいの内容を参加していない人に知らせることはできないかと考え、公民館だよりに記事を掲載しました。「防災のつどい」で取り上げたローリングストック法（食材を使いながら、備蓄する方法）などについて紹介したところ、地域の方から内容についてのお尋ねがありました。これまでも職員が防災についての記事を度々掲載しており、講座以外に情報発信していくことも関心を高める上で大切だと感じます。

地域の中で主体的に活動している団体や個人は他にもおられます。そうした団体や個人につながっていけるように公民館がアンテナを高くもつこと、そして、公民館が連携することで、活動する団体や人を応援し、新しい波及効果を生み出す場となるよう、公民館として働きかけていきたいと思っています。

## 公民館の実践紹介⑩

## 藤田公民館

## 自ら楽しみ、人も楽しませる 地域づくりは人づくり

## 「藤田を楽しくし隊！」の活動

岡山市南区に位置する藤田地区は、明治期の児島湾干拓事業により誕生した農業が盛んな地域です。年々少子高齢化が進んでおり、子どもと地域の人が触れ合う場が少なくなり、地域の方からも次世代の担い手不足の声をよくお聞きしています。公民館の基本方針で「若者の社会参画」が重点とされ、若者の地域活動への参画の機会を作ることが目指されていることから、藤田公民館では中高生等の登録制ボランティアグループ「藤田を楽しくし隊！」の活動を始めました。

## 藤田を楽しくし隊！のスタート

「藤田を楽しくし隊！」は、中学生、高校生、大学生等を対象に、地域活動に関わり、地域の人との触れ合いや、子ども同士の仲間づくりができる場を目指し、令和元年度から始めた講座です。子どもたちが自分で考え、楽しいと思うこと、やってみたくことを実行し、周りの人を楽しませ、笑顔にすることができる。そんな活動を通して自分たちの住む地域のことをより好きになり、次世代の担い手に育ってもらいたいと思っています。

令和元年度は公民館行事や地域行事に積極的に参加し、地域の人や参加者との触れ合いを持つ活動を進めました。8月下旬に開催する「夕焼けウォーク」では、事前研修会で、どのようにすれば参加者を楽しませることが出来るか意見を出し合いました。ウォーキングの前に行う準備体操「OKAYAMA！市民体操」を練習してみんなの手本となることや、クイズ大会で盛り上げ役になると決めました。全力で活動をやりきり、メンバーも笑顔で充実感を味わえました。



かぶり物は恥ずかしい…



防災ブースで対応

藤田地区では例年いくつか地域行事(お祭り等)が開催されており、それらにも参加しました。10月の「ふじた桃太郎どんぶらこまつり」では、防災関連ブース、171 災害用伝言ダイヤルブース、児童館ブースの担当を実行委員会から依頼されました。事前研修会で災害に対する準備の重要性の話聞き、防災グッズの使い方の体験や、ア

ルフアミの試食なども行いました。また災害ボランティアの方から災害現場の生の様子をお聞きすることもできました。このような研修を経て、祭り当日には来場者に対して防災の重要性を伝えることができました。

続いて参加した11月の「藤田ふれあい祭り」では、レタス、ナス、タマネギ、コメといった藤田の特産品の生産者の方から農業にかける思いを聞き、祭りの当日には来場者に藤田地区の農産物のすばらしさを伝えることができました。また、祭り当日は、公民館で作成した「ふじたのかるた」でかるたとり大会を行うコーナーを設けました。手作りポスターを持って大きな声を出して、たくさんの人を集め、かるたとりを楽しんでもらうことができました。

## 次の楽しいことを

新型コロナウイルス感染症で多くの行事が中止となる中、地域の良いところを紹介する動画づくりに取り組みました。「ふじたのかるた」で取り上げられたところを参考に、紹介したい事柄を選び、絵コンテやシナリオ作りに取り組み、カメラを使った撮影や、役者としての演技体験なども行いながら、ナレーションを吹き込み、「藤田神社」を紹介する動画を完成させました。「YouTube 藤田公民館」で検索してご覧ください。

令和3年3月21日には、「どんぶらこの里ウォーキングと炊き出し訓練」に参加しました。事前研修を行ったメンバーは、災害時に役立つロープの結び方の指導で活躍しました。



ロープワークの指導中

子どもたちは、何よりも地域の人と楽しくお話しや交流ができたことをとても喜んでいました。

## 地域づくりは人づくり

話し合いや、アイデア出しの場面で子どもたちは司会進行役、書記役を交代で担当しました。どう言ったらいいのかわからない時、方向性を間違えそうな時など、他のメンバーがフォローしながら進めていきました。学校ではできない体験を積むことで子どもたちは着実に力を付け、成長していていると感じられました。

# コロナに負けるな！

## 上南公民館 新型コロナワクチン接種説明会を開催

岡山市内の公民館では令和3年3月初旬から5月中旬にかけて市内31公民館で計40回、市役所保健管理課によるワクチン接種説明会を開催しました。

4月22日(木)10時から上南公民館でワクチンの接種説明会を開催し26人が参加しました。

ワクチンの安全性、有効性、具体的な副作用などの説明のあと、接種券送付や予約開始、接種開始の日程や注意したいこ



となどの話を聞きました。「変異株には効果があるのか?」「抗体ができたかどうかの確認はどうするのか?」など、質問もたくさん出ました。丁寧で分かりやすい説明で、参加者の皆さんも安心して接種を受けようという気持ちになっていたようです。

### 【参加者の感想から】

- ・ 分かりやすい説明で安心して接種ができる思いがしました。
- ・ 恐ろしいと思っていたが、気が楽になりました。予約の電話が集中していつできるのか不安はあるが、接種しようと思った。

# あつまれ！ 少年少女 ドリームフェスティバル in 西大寺

主催/NPO 法人チーム響き  
岡山市立西大寺公民館、公民館振興室

子どもたちの夢をかなえよう！をテーマに、NPO法人チーム響きが応募した「あなたのやりたいこと×公民館応援プロジェクト」事業を、令和3年3月14日(日)に西大寺公民館で開催しました。

小学生から高校生までが、8つのプログラムを体験しました。自分でパフェを作ったり、eスポーツ

のトーナメントをしたり、スポーツ選手の体づくりを学んだり、参加者はその道のプロや専門家から指導を受けることができました。

当日は、岡山学芸館高校の皆さんがスタッフや参加者として大活躍しました。

## 「若者」×「公民館」 プロジェクト事業

手洗いの指導。菌を人にうつしてはいけないので、医療現場の人は手を大事にしています。



オリジナルのパフェを作っています。小さな店員さん、がんばれ！



アナウンサー体験。ニュース原稿を読みました。



受付開始で定員に達する人気ぶりでした。eスポーツプレイヤーが職業となる時代と認識できたのも、この事業をやった成果かも。ジェネレーションギャップを感じたのは否めませんが……。



アスレチックトレーナーに、スポーツ選手の基礎となる体づくりを教わっています。